

## 時刻・カレンダー合わせ

時刻・カレンダー表示の時ボタンBを押すと時刻・カレンダー合わせとなり秒桁が点滅します。(この時グラフィック表示部が全て消灯します。)  
ボタンCを押して合わせたい箇所を点滅させボタンDで合わせます。

ボタンDを押すたびに点滅箇所が変わります。

ボタンDを押すごとに点滅している数字が1ずつ進みます。(押しつづけると早く進みます。)

**秒合わせ** 秒を点滅させ時報に合わせてボタンDを押すと00秒に合います。秒が30-59秒の時ボタンDを押すと分が1分くり上って00秒に合います。

合わせ終わったらボタンBを押して時刻・カレンダー表示に戻してください。なお、時刻・カレンダー合わせの状態で2分以上放置しますと、自動的に時刻・カレンダー表示に戻ります。

## 各部の名称とはたらき

(ボタンはどのような順序で押しても構いません。)

それぞれの表示から修正表示(合わせ)へ切り換わります。

表示の切り換え

ボタンAを押すたびに下図の順序で表示が切り換わります。

時刻・カレンダー表示.....デュアルタイム表示へ切り換え  
時刻・カレンダー合わせ.....修正箇所の選択  
ストップウォッチ.....スタート/ストップ  
オートスタート時間合わせ.....修正箇所の選択  
タキメータ.....スタート/ストップ  
距離合わせ.....修正箇所の選択  
タイマー表示.....スタート/ストップ  
タイマー時間合わせ.....修正箇所の選択  
アラーム時刻表示.....アラーム・時報の休止復元とサウンドデモストレーション  
アラーム時刻合わせ.....修正箇所の選択  
デュアルタイム表示.....時刻・カレンダー表示へ切り換え  
デュアルタイム合わせ.....修正箇所の選択  
どの表示でもアラーム・タイマー終了音の鳴り止め

グラフィック表示部 モード表示部

時刻・カレンダー表示.....ラップ点灯  
時刻・カレンダー合わせ.....修正箇所の合わせ  
ストップウォッチ.....ラップ/リセット/リコール  
オートスタート時間合わせ.....修正箇所の合わせ  
タキメータ.....ラップ(時速)/リセット  
距離合わせ.....修正箇所の合わせ  
タイマー表示.....プリセット  
タイマー時間合わせ.....修正箇所の合わせ  
アラーム時刻表示.....ラップ点灯  
アラーム時刻合わせ.....修正箇所の合わせ  
デュアルタイム表示.....ラップ点灯  
デュアルタイム合わせ.....修正箇所の合わせ  
どの表示でもアラーム・タイマー終了音の鳴り止め

## 表示の切換え

## アラームと時報のON,OFFとサウンドデモストレーションのしかた

アラーム時刻表示の状態ではボタンCを押すたびに、アラーム音と時報のON/OFFができます。

この時ボタンCを1回押すごとにセット音(ピンポン)が鳴ります。また、ボタンCを押し続けると、押している間サウンドデモストレーションができます。

## デュアルタイムの使いかた

時差の異なるもう一つの地域の時刻をセットできます。(但しカレンダーは表示されません)  
ボタンAを押してデュアルタイム表示にしてください。

ボタンBを押すとデュアルタイム合わせとなり時桁と12時制ならばAまたはPが点滅します。

ボタンCを押して時桁または分桁を選択し、ボタンDでセットします。

合わせ終わったらボタンBを押してデュアルタイム表示に戻してください。なお、デュアルタイム合わせの状態でも2分以上放置しますと、自動的にデュアルタイム表示に戻ります。

使用例  
ニューヨークからLONDONの友人に定時交信をするとき  
ニューヨークとLONDONの時差の5時間分をセットしておきます。

## アラーム時刻合わせ

ボタンAを押してアラーム時刻表示にしてください。

ボタンBを押すとアラーム時刻合わせとなり時桁と12時制ならばAまたはPが点滅します。

ボタンCを押して時桁または分桁を選択し、ボタンDでセットします。

時計が24時刻の時時は修正は24時で行なわれます。アラーム時刻をボタンDで押して合わせると自動的にアラームマークが点灯となり、アラームがセットされた状態になります。

合わせ終わったらボタンBを押してアラーム時刻表示に戻してください。なお、アラーム時刻合わせの状態でも2分以上放置しますと自動的にアラーム時刻表示に戻ります。鳴っているアラームの止めかた  
ボタンA・B・C・Dのいずれかのボタンを押してください。どのモードでもアラームを止めることができます。

## デュアルタイムの使いかた

時差の異なるもう一つの地域の時刻をセットできます。(但しカレンダーは表示されません)  
ボタンAを押してデュアルタイム表示にしてください。

ボタンBを押すとデュアルタイム合わせとなり時桁と12時制ならばAまたはPが点滅します。

ボタンCを押して時桁または分桁を選択し、ボタンDでセットします。

合わせ終わったらボタンBを押してデュアルタイム表示に戻してください。なお、デュアルタイム合わせの状態でも2分以上放置しますと、自動的にデュアルタイム表示に戻ります。

使用例  
ニューヨークからLONDONの友人に定時交信をするとき  
ニューヨークとLONDONの時差の5時間分をセットしておきます。

## ストップウォッチの使いかた

このストップウォッチは1/100秒単位で30時間計測できます。  
ラップメモリ(30本)機能がついています。  
オートスタート(0秒-15分59秒後にオートスタート)機能がついています。  
タキメータが作動している時はストップウォッチは使用できませんので、一旦タキメータを止めてからストップウォッチにしてください。  
タイマーが作動している時はストップウォッチのオートスタート機能は使用できませんので一旦タイマーを止めてからストップウォッチのオートスタート表示にして使用してください。  
ストップウォッチの計測を始める前に、メモリーをクリア(ボタンDを押しながらボタンAを押す。)してから使用してください。

ラップメモリ数

ストップウォッチ

ストップウォッチモードマーク

メモリークリア状態

ラップメモリ数

ストップウォッチ

ストップウォッチモードマーク

グラフィック表示部

ボタンCを押すとストップウォッチがスタートします。ボタンCを押すごとにストップウォッチがスタート/ストップします。

ボタンAを押してストップウォッチにしてください。

ボタンCを押すとストップウォッチがスタートします。ボタンCを押すごとにストップウォッチがスタート/ストップします。

ストップウォッチ

ストップウォッチモードマーク

グラフィック表示部

分マーク

秒マーク

普通の流れかた ボタンを押す順序 C C D

スタート

ストップ

スタート

ストップ

ラップメモリ数

時間計測を積算で行なう場合(計測を途中で中断する場合)  
ボタンを押す順序 C C C ... C D

スタート

ストップ(中断)

再スタート(再開)

ストップ

リセット

途中のスタート、ストップは何回でも繰り返せます。  
上図の例でもボタンDを押してリセットした時にラップメモリ数が01となり4時間39分50秒85がメモリされます。

1・2位のタイムの測りかた ボタンを押す順序 C D C

スタート

ストップ(1位タイム)

ストップ(2位タイム)

ラップタイムの測りかた(例:周回走) ボタンを押す順序 C D D D ... D C D  
ラップメモリ数が00になっているか確認してください。  
もし00になっていない場合にはボタンDを押しながらボタンAを押してメモリークリアしてください。  
なお、今残っている計測時間がどうしても必要な場合には、ラップメモリ数が現在のどれくらいなのか確認しておいてください。(新たにラップが計測されていく場合にはそのラップメモリ数から+1されていきます。)  
ラップメモリ数は最大30本です。31番目のラップを計測した時には一番最初のラップメモリが消えてしまいますので御注意ください。(常に最新のラップを30本メモリする様になっています。)

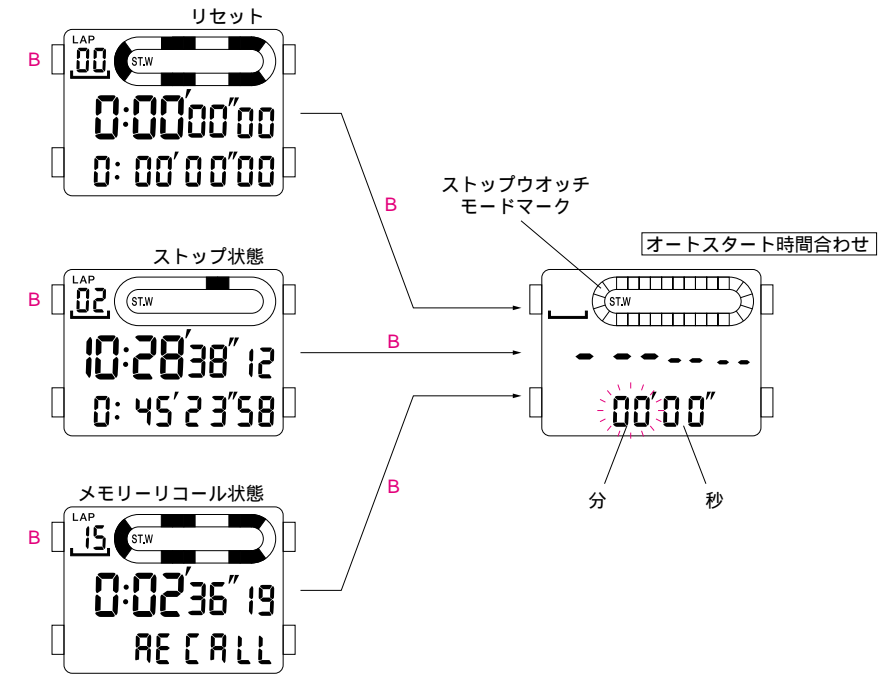
ラップメモリーの呼び出しかた  
ラップメモリを呼び出して見たい時にはリセット状態でボタンDを押してください。(メモリーリコールができます。)  
ボタンDを押すたびにラップメモリ数が01から順番に(古いラップメモリから順番に)呼び出せます。

オートスタート機能によりストップウォッチをスタートする場合  
オートスタート機能とはストップウォッチを、設定された時間が経過した時にスタートさせる機能で予め設定された時間の経過後にストップウォッチが計測を開始する機能で、ストップウォッチをスタートさせる時刻が分かっている場合に便利な機能です。  
オートスタートは00秒から15分59秒まで1秒単位で設定できます。  
なお、タイマーが作動している時は、オートスタート機能は使用できませんので一旦タイマーをボタンCで止めてからストップウォッチオートスタート表示にしてください。(裏面につづく)

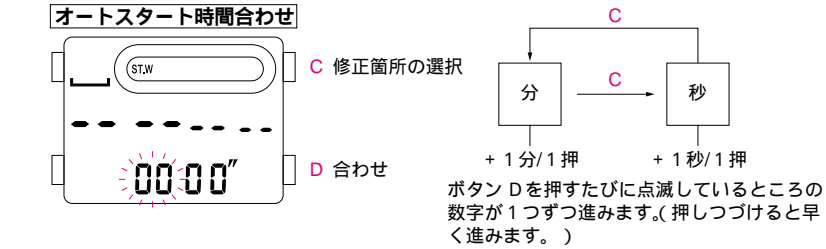


## ストップウォッチの使いかた

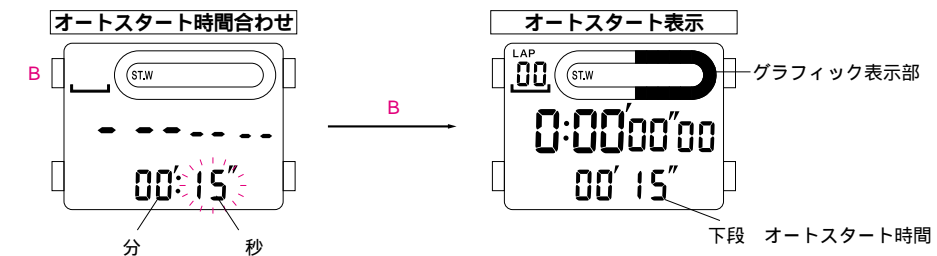
- 1) オートスタート時間の合わせかた  
 [ストップウォッチ]のリセット状態あるいはストップ状態及びメモリーリコール状態でボタンBを押すと オートスタート時間合わせ となります。(桁が点滅します。)



ボタンCを押して分または秒を選択し、ボタンDでセットします。



合わせ終わったらボタンBを押すと[ストップウォッチオートスタート表示]になります。

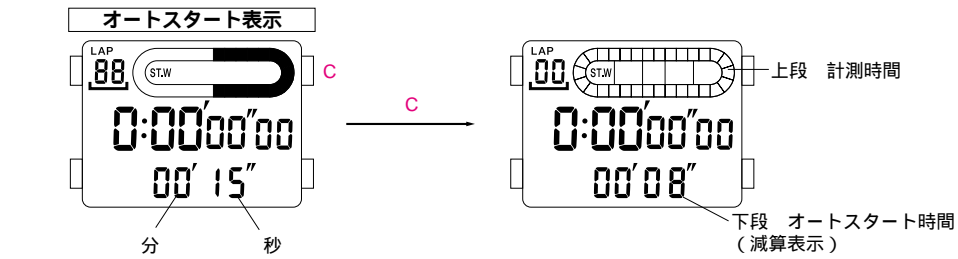


上図の例では[オートスタート]時間合わせで15秒に設定した場合で、ボタンBを押して[オートスタート表示]にした時に下段にオートスタート時間が表示されます。

なお、[オートスタート時間合わせ]の状態で2分以上放置しておいても、自動的に[オートスタート表示]に戻ります。  
 また、一度設定されたオートスタート時間は修正するまでそのまま保持されますので呼び出して何度でも使うことができます。

- 2) オートスタート機能によるストップウォッチの計測のしかた  
 オートスタート表示にしてからボタンCを押すとオートスタート時間が減算を開始します。ボタンCを押すごとにオートスタート時間の減算がスタート/ストップします。

[オートスタート表示]にしてからボタンCを押すとオートスタート時間が減算を開始します。ボタンCを押すごとにオートスタート時間の減算がスタート/ストップします。



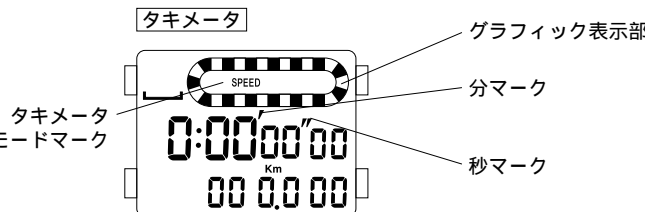
オートスタート時間の減算途中で10秒、3秒、2秒、1秒の時点で経過音"ピッ"を報音し、0秒の時にストップウォッチが計測を開始します。  
 もし、オートスタート時間が3分以上の設定であれば、減算途中の2分、1分、50秒、40秒、30秒、20秒にも経過音"ピッ"と報音します。

ストップウォッチが計測を開始してからはストップウォッチの使い方と同じです。

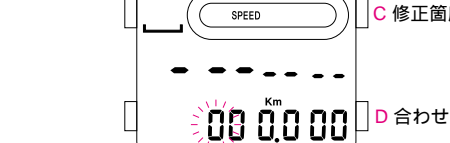
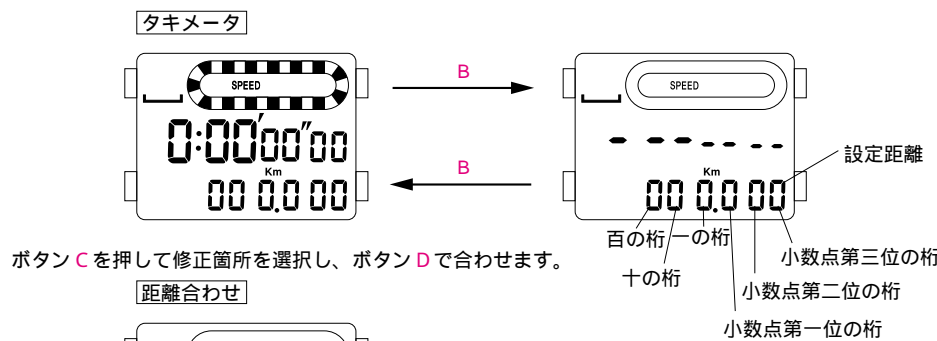
## タキメータの使いかた

このタキメータは1/100秒単位で30時間計測ができます。  
 時速計算は、km又はMileの単位を選択できます。ストップウォッチが作動している時はタキメータは使用できませんので、一旦ストップウォッチをボタンCで止めてから時速計算にして使用してください。

ボタンAを押してタキメータにしてください。



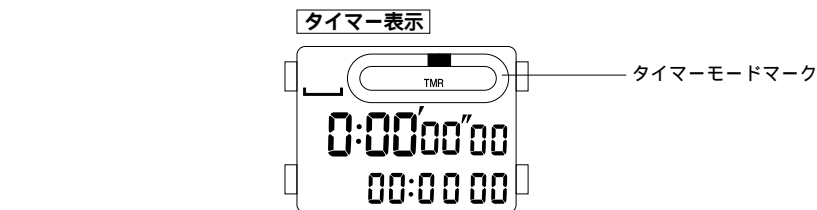
ボタンBを押すと距離合わせとなり百の桁が点滅します。



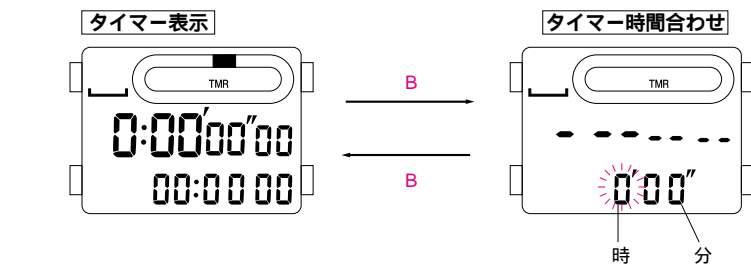
## タイマーの使いかた

ストップウォッチがオートスタート機能が作動[計測を開始]している時にはタイマーは使用できません。  
 一旦ストップウォッチのオートスタート機能を止めてからタイマーにして使用してください。

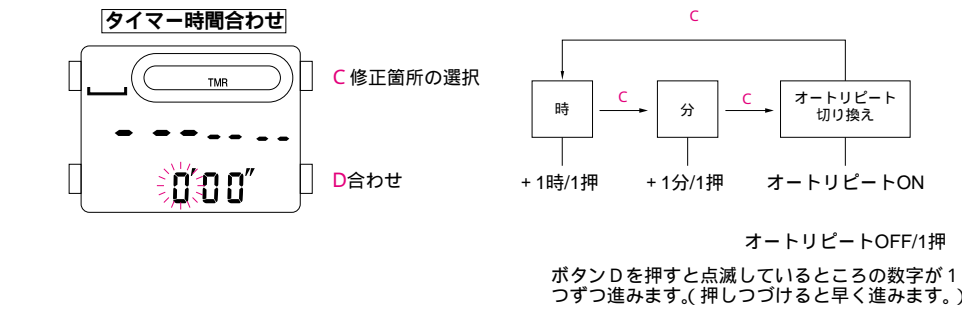
ボタンAを押してタイマー表示にしてください。



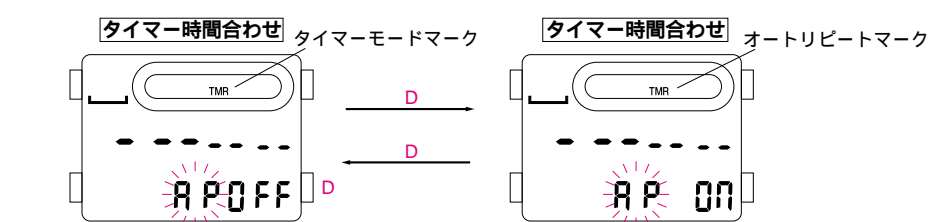
ボタンBを押すと[タイマー時間合わせ]となり時桁が点滅します。



ボタンCを押して修正箇所を選択し、ボタンDで合わせます。



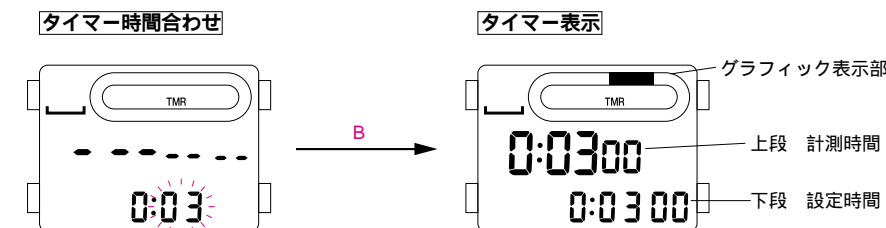
タイマー時間は最大29時間59分まで設定できます。(1分単位)  
 オートリビートがONの時は設定されたタイマー時間を何度でも自動的に繰り返します。オートリビートがOFFの時は設定されたタイマー時間を1回だけ減算カウントしタイマー終了音を報音して止まります。



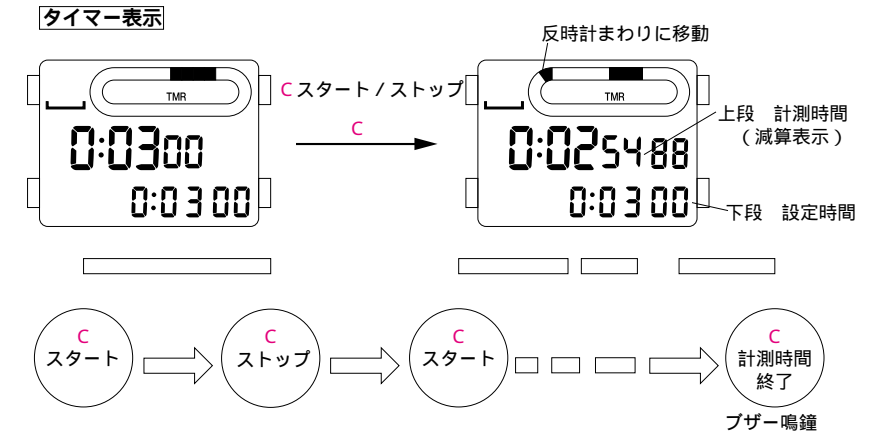
オートリビートがONの時はAP ONの表示と共にオートリビートマークが点灯します。

合わせ終わったらボタンBを押して[タイマー表示]に戻してください。  
 なお、[タイマー時間合わせ]の状態で2分以上放置しますと、自動的に[タイマー表示]に戻ります。  
 また、一度設定されたタイマー時間は修正するまでそのまま保持され呼び出して何度でも使うことができます。

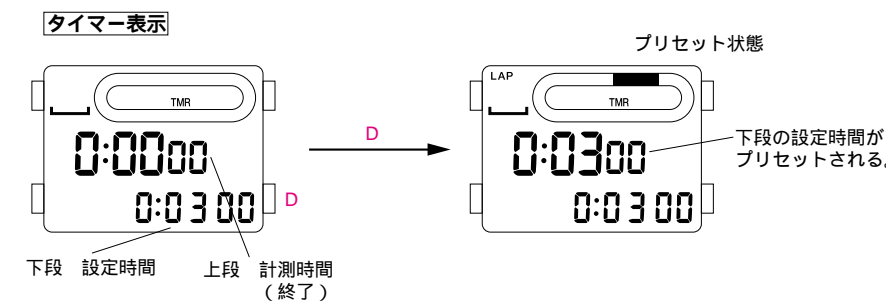
[タイマー表示]に戻すと下段に設定時間、上段に計測時間が表示されます。(例 設定3分オートリビートなしの場合)



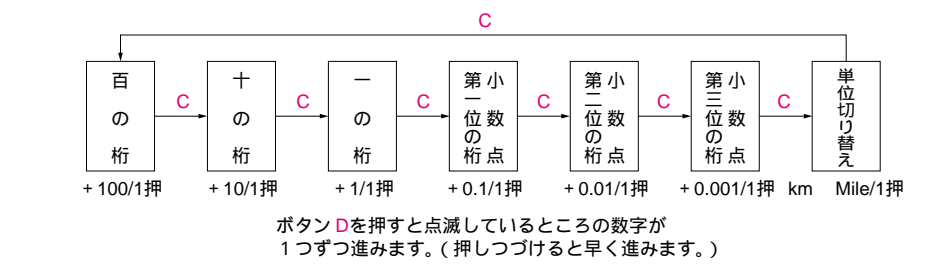
ボタンCを押すと"ピッ"と操作音を出しタイマーがスタートします。ボタンCを押すごとにタイマーがスタート/ストップします。



なお、タイマー終了音を途中で止めたい時はボタンA B C Dのいずれかのボタンを押してください。  
 また、タイマー計測中の経過音は15分、10分、5分、4分、3分、2分、1分、50秒、40秒、30秒、20秒、10秒、3秒、2秒、1秒で"ピッ"と鳴ります。  
 一度使用したタイマー時間をもう一度使用したい場合はボタンDを押してプリセットしてからボタンCでスタートしてください。なおプリセットせずにボタンCを押してスタートさせようとすると、"ピビッ"というエラー音が鳴ります。

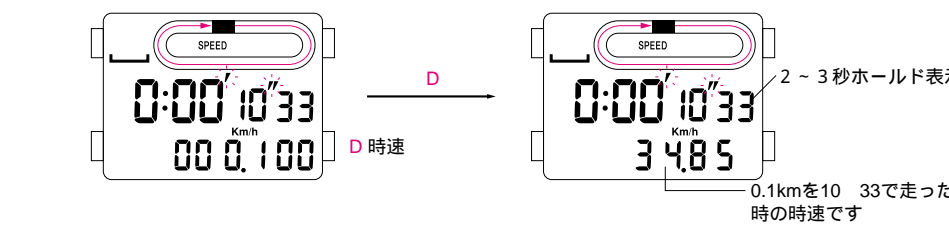
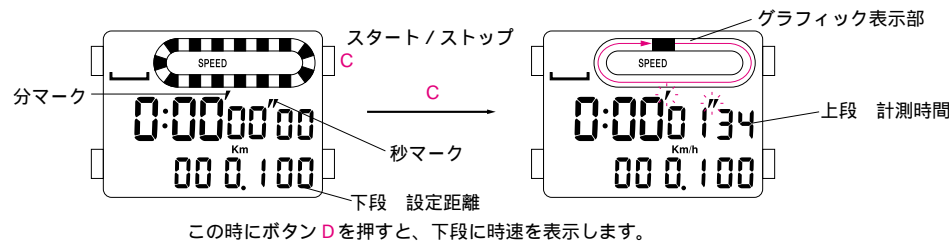


タイマー計測中の途中でもう一度設定時間のスタートをしたい場合には、ボタンCを押してストップしてからボタンDを押してプリセットし直してください。



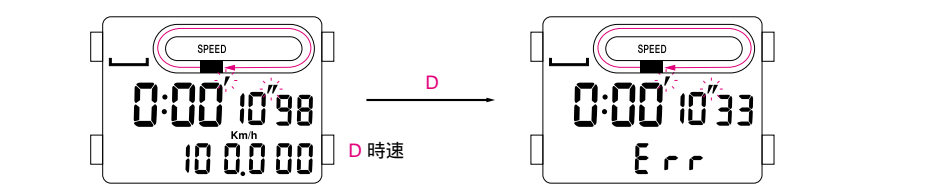
距離は最大999.999km又はMileまで設定できます。  
 合わせ終わったらボタンBを押して[タキメータ]に戻してください。  
 なお、[距離合わせ]の状態で2分以上放置しますと、自動的に[タキメータ]に戻ります。

また、一度設定された距離は修正するまでそのまま保持されます。  
 ボタンCを押すとタキメータの計測時間がスタートします。ボタンCを押すたびに計測時間がスタート/ストップします。



ボタンDが押された時には時速を下段に表示されます。その時の計測時間を2~3秒ホールド表示します。時計の中ではリセットされ計測を続行しています。再びボタンDを押すと前回のボタンDを押した時から今回のボタンDを押した時までの計測時間で設定距離を除いて時速を表示しなおします。タキメータは、ボタンDが押された時のみに行なわれますのでストップする時はボタンCを押してください。なおストップされた時には前回の時速を表示したままとなります。

また、時速は小数点以下第3位を四捨五入した値を表示します。  
 なお、時速が999.995以上の時は下段に"Err"と表示します。



時速計算を取り終わったらボタンCを押して計測時間をストップしてからボタンDでリセットしてください。